

久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性についての意見交換会 実施報告書

1 日時等

(1) 久喜市立久喜北小学校の保護者を対象とした意見交換会

	①	②
日 時	令和4年11月30日(水) 13時～13時45分	令和4年12月2日(金) 13時～13時45分
場 所	オンライン	オンライン
対 象 者	2, 4, 6学年の保護者	1, 3, 5学年の保護者
参加人数	13人	8人
事 務 局	学務課 麦倉指導主事兼主幹、 田口課長補佐兼係長、 齋藤担当主査、柴田主任	学務課 麦倉指導主事兼主幹、 田口課長補佐兼係長、 齋藤担当主査、柴田主任、 飯島主事

(2) 久喜市立本町小学校の保護者を対象とした意見交換会

	①	②
日 時	令和4年12月6日(火) 13時～13時45分	令和4年12月7日(水) 13時～13時45分
場 所	本町小学校 体育館	本町小学校 体育館
対 象 者	1, 3, 5学年の保護者	2, 4, 6学年の保護者
参加人数	19人	14人
事 務 局	学務課 麦倉指導主事兼主幹、 田口課長補佐兼係長、 齋藤担当主査、柴田主任、 飯島主事	学務課 麦倉指導主事兼主幹、 齋藤担当主査、柴田主任、 飯島主事

2 配布資料

- 資料 1 本町小学校及び久喜北小学校 学区域図
 参考資料1 学校の小規模化におけるメリットと課題について
 参考資料2 関係学校の児童数及び学級数の見込み(令和4年5月1日現在)
 参考資料3 久喜小学校、本町小学校及び久喜北小学校の概要

3 主な意見、質問

(担当より久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について説明を行ったのち、
 質疑応答の時間を設けた。)

※意見交換会終了後にいただいた個別の意見及び質問は記載しておりません。

(1) 久喜市立久喜北小学校の保護者を対象とした意見交換会

【11月30日分】

- ・全体の場合での意見及び質問なし

【12月2日分】

- ・全体の場合での意見及び質問なし

(2) 久喜市立本町小学校の保護者を対象とした意見交換会

【12月6日分】

- ・児童数について、久喜北小学校と本町小学校の統合を考えるにあたり、もう少しデータをいただきたい。参考資料2は数字が多すぎてわかりにくいいため、棒グラフか折れ線グラフ等を使用し、児童数の増減等を比較的に見たい。

⇒次回以降、工夫して提示できればと思う。

基本的に学校統合等の検討基準として、学級数で考えている。複式学級の編制が見込まれる学校や全学年で6学級の学校、6学級が見込まれる学校を検討の基準としている。

(補足説明)

複式学級について、2つの学年を併せて16人以下になると2つの学年に対して担任の教員が1人の状況になる。そのような状況が見込まれる場合、学校統合等の検討を行うことになる。

学級編制について、段階的に35人学級が始まってきており、35人区切り毎に1学級を編制、36人の場合は2学級、71人の場合は3学級となる形をイメージしてもらえればと思う。そうしたなか、案②「本町小学校を分割する形で久喜小学校と久喜北小学校に学区変更する」場合、例えば、参考資料2の令和4年度の久喜小学校の3学年の児童数は90人であるが、16人が増加すると4学級になる。このようなことから、案②の場合は、教室数や教員数等の必要なものが生じる。学校長に伺ったところ、教室数が不足するなどのご意見があったため、教育委員会としては案②ではなく、案①「久喜北小学校と本町小学校を統合し、新校の位置を本町小学校の位置に設置する」方向で進めたいと考えている。

- ・統合を行う時期について。

⇒本町小学校の施設の老朽化の対応についてなんとかしたいと考えているため、まずは新校の位置を決定したい。

大規模改造するか、新校舎を建設するかによって完成時期が違ふのと、久喜北小学校の児童数の減少を見ながら完成のタイミングになるのか、完成してから統合になるのかについては、今後の推移も見ながら検討していくことになるため、具体的な統合時期を言うことはできない。

- ・統合に係る予算について。

⇒大規模改造の場合と新校舎の建設の場合の想定の仕事費等について、今のところ具体的な検証は行っていない。

- ・児童数等について、案①の場合、久喜北小学校と本町小学校の児童数を足し算すれば

わかるが、案②の場合、どのような感じになるのか読み取ることができない。

⇒案②の場合の児童数等については、どこで区切るかなどがあるので、具体的な検討はしていない。単純に本町小学校の児童数の規模を半分に分けた場合、各学校の教室数が不足することが見込まれるため、案②の具体的なデータは用意していない。そのことから、教育委員会としては、案②は想定しておらず、案①で進めていきたいと考えている。

・統合のメリットとデメリットについて、先程、事務局から、案②で進めた場合は教室数が不足するため案①のほうがメリットがあるというような話があったが、参考資料1のメリット・デメリットとは別の内容だと思うので、このようなことも一覧表にまとめていただくと検討しやすく、先に進みやすいのではないかと。また、本町小学校を新校の位置にした場合、久喜北小学校区の一部の子どもは統合により通学距離が長くなるなどのデメリットもある。メリットとデメリットを提示することで、納得する保護者がいると思う。(他1名より同意見あり)

⇒案①と案②について、教育委員会での検討過程の中のお話しとして案①と案②を説明した。案②についてどうかというような形で伺おうとは思っておらず、久喜北小学校と本町小学校を統合し、新校の位置を本町小学校とすることの是非についてのアンケートを実施する予定である。その結果に基づいて、今後の進め方を検討していく。

また、久喜北小学校区の一部の子どもが統合により通学距離が長くなることについて、学校の統合により必ずどこかの地域の子どもは遠くなる。そのことを理解したうえで、統合しなければならないと思う。

歴史的な経緯として、久喜北小学校は本町小学校が分離して設置された学校であり、分離する前は現在の久喜北小学校区と本町小学校区はすべて本町小学校区であった。当時と交通状況等が違うこともあるが、久喜北小学校の一部から本町小学校までの安全な通学路が確保されていると判断した上で、参考資料1には一般的なメリットとデメリットを提示している。

また、統合することが決定した場合は、保護者や地域の区長で構成される「準備委員会」を立ち上げて、地域における課題、通学路の懸念点や校章・校歌等を準備委員会において協議し、開校時期までに解決できるものは解決していく。

・本町小学校の敷地内に新校舎を建設するとのことだが、その場合は子どもたちに制限がでてくることもあると思うが、ある程度決まっていることはあるのか。

⇒現時点で新校舎の建設が決定したとは言えない。大規模改造するか、新校舎を建設するかについては、新校の位置が決定し、費用面や先々の児童数の推移等、諸々のことを考え、費用比較を始めていく。

工事を行う場合、大規模になり、ある程度の期間を要することになると思われる。例えば、江面小学校の場合、農村センターで授業を受けるなど、子どもには慣れない環境で勉強していただいた。工事を行う場合は、なるべく影響が少ないような対応をしていく。また、工事に伴う騒音に関して、音が出る工事については土日に実施していただくなどの配慮は行っていく。

・教育委員会としては、案①で進めていきたいということによいか。

⇒教育委員会の考え方としては、そのような形で進めていきたい。それについての賛否

を、今後、保護者を対象にアンケート調査する予定であり、回答結果を基に今後の方針を検討していく。

・今回の意見交換会に参加できなかった保護者は、この資料を読んだときに疑問をもつ方もいると思うため、これまでの経緯がわかる資料や参考資料としてこれまでの質疑応答の概要を提示してほしい。

⇒前回の説明会の概要については、既に保護者世帯に配布している。今回の意見交換会についても、概要をまとめたものを配布する予定である。その上でアンケート調査を実施する予定である。

・配布が大変なのであれば市のホームページに公開すればいいと思う。いつでも読める仕組みを準備したほうがいいと思う。

⇒アンケート調査については、グーグルフォームを用いて実施するが、そこに本日配布した資料及び意見交換会の報告書等を貼付する。

・アンケートにコメント欄を用意していただきたい。

⇒アンケートは、本町小学校と久喜北小学校を統合する場合、新校の位置を本町小学校とすることについて、「賛成」、「どちらかという賛成」、「反対」を選択肢で回答していただく予定だが、その他に自由コメント欄を用意する予定である。アンケートを回答したうえでご意見等がある方は、その欄に入力していただければ、事務局が確認する。

・アンケートを実施した場合、本町小学校のほうが久喜北小学校よりも人数が多いため、賛成の方が多くなると予想している。そうなったときに、反対の方の意見を考慮したうえで進めていくとは思いますが、納得感が必要だと思うので、可能であればFAQ（よくある質問）の記載があると反対意見の方も結果的に納得できるのではないかと。

⇒令和2年度（令和3年1月）に、久喜北小学校と本町小学校の統合に関するアンケートを実施した。その時のアンケートは、本町小学校の保護者より「久喜北小学校の児童が減少しているから統合したほうがいいのではないか。」といった賛成のご意見が約8割、久喜北小学校は賛成と反対が半々であった。今回のアンケートは、久喜北小学校と本町小学校が統合する場合の新校の位置を本町小学校とすることについてだが、統合の場合は概ね3分の2を目途にしている。もちろん、小規模校と大規模校があるので、小規模校のほうが賛否が分かれる傾向にあることから、概ね比率が賛成6：反対4を超えてこないと今まではゴーサインを出したことはない。そこに達していないようであれば、説明する機会をさらに設けてご理解を深めていくようにするかどうかについて、久喜市立小中学校学区等審議会でご意見をいただきながら、今後の方向性を改めて考えていきたい。

【12月7日分】

・全体の場合での意見及び質問なし